

札幌都心アクセス道路検討会（第2回）

日時：平成29年8月10日（木）
10時00分～
場所：TKP ガーデンシティ札幌駅前
2F ホール2C

議 事 次 第

1. 開会

2. 議事

（1）各機関における創成川通の検討内容について

3. 閉会

《 配布資料 》

資料1：第1回検討会の議事及び検討事項（案）

資料2：北海道開発局資料

資料3：北海道提供資料

資料4：札幌市提供資料

資料5：検討会の進め方（案）

札幌都心アクセス道路検討会規約

(名称)

第1条 本会は「札幌都心アクセス道路検討会」(以下、「本会」という。)と称する。

(目的)

第2条 北海道新幹線札幌延伸等を踏まえ、札幌都心部と高速道路とのアクセス強化を図るため、関係機関の連携のもと、創成川通の課題解決方策について検討を行う。

(組織)

第3条 本会の構成員は、次のとおりとする。また、必要に応じて、追加することができる。

札幌市都市計画担当局長

北海道建設部長

北海道開発局建設部長

(庶務)

第4条 本会の庶務は、関係機関の協力を得て、北海道開発局において処理する。

(その他)

第5条 本規約に定めるもののほか、必要な事項は会議に諮って決める。

(附則)

この規約は、平成28年12月19日から施行する。

札幌都心アクセス道路検討会(第1回)の議事

議 事	主な発言
検討会の設置	<ul style="list-style-type: none"> ・北海道新幹線札幌延伸等を踏まえ、札幌都心部と高速道路とのアクセス強化を図るため、関係機関の連携のもと、創成川通の課題解決方策について検討を行うことを目的に、札幌市、北海道及び北海道開発局の3者で検討会を設置。
これまでの取組み等について	<ul style="list-style-type: none"> ・北海道総合開発計画(H28.3閣議決定)において、札幌都市圏は、都心アクセス強化等を通じて、北海道全体を牽引する役割が求められている。 ・道央都市圏の都市交通マスタープランや北海道強靱化計画において都心アクセス強化が位置づけ。 ・創成川通は、観光、物流、医療等の広域効果が期待されるため、新幹線札幌延伸を見据え、冬期の渋滞解消など課題解決が必要。 ・札幌市に集積する高次都市機能を周辺都市が享受できるためにも重要な取組として認識。 ・札幌市のまちづくり計画に都心アクセス強化が位置づけ。 ・創成川通は渋滞や事故等の課題が多くその整備により、生活、観光、物流等の多様な効果が期待される。 ・新幹線札幌延伸を見据え、札幌駅の交通結節機能の強化や創成川通の機能強化が極めて重要。 ・札幌市としては本検討会での検討を踏まえ、市民との更なる認識共有を進める。

札幌都心アクセス道路検討会の検討事項(案)

検討事項	内 容
構造の概略検討	・まちづくり計画等の地域の意向を踏まえて道路の概略構造案を検討
広域的な視点での整備効果の整理	・道央都市圏をはじめ全道への波及効果等を整理
創成川通の整備と合わせたまちづくりの検討	・想定される整備形態を踏まえて、まちづくり面の機能強化を検討
市民等とのさらなる認識共有	・道路構造やまちづくりについて検討の進捗に応じて市民等との認識共有を深める取組みを実施

札幌都心アクセス道路検討会(第2回)

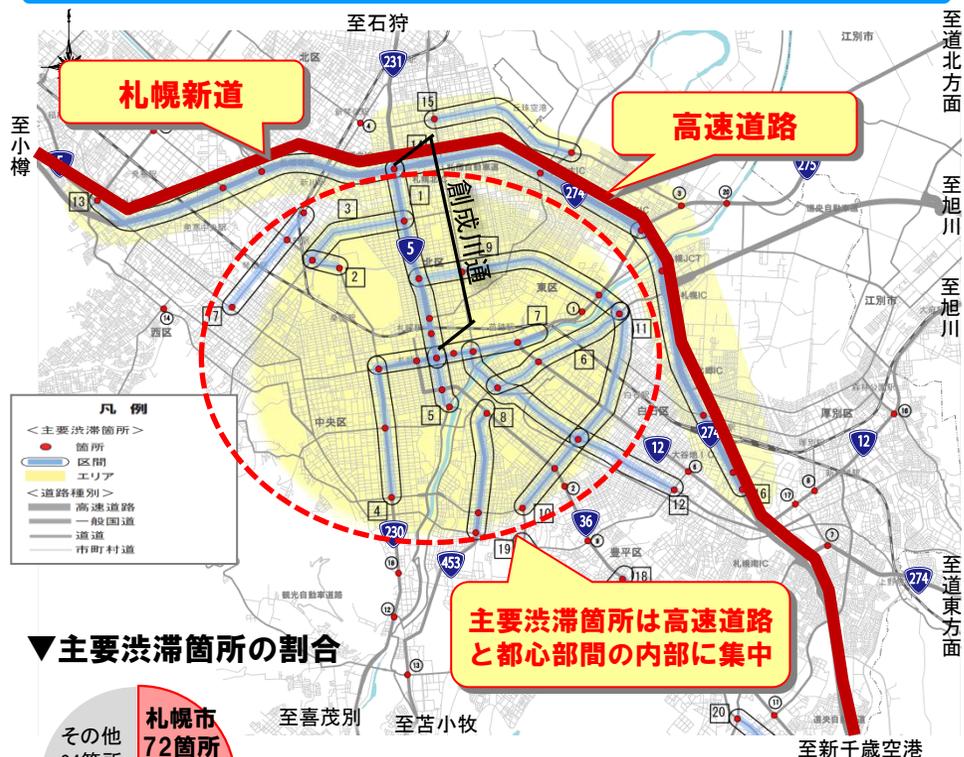
創成川通の現道課題

国土交通省北海道開発局

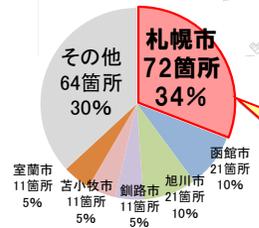
1. 札幌市内の渋滞状況

- 全道の主要渋滞箇所のうち、札幌市内が約3割を占めており、**高速道路と都心部間の内部に集中**
- 特に札幌都心部では、**幹線道路を中心に大きな渋滞損失時間が発生**

札幌市の主要渋滞箇所



▼主要渋滞箇所の割合



札幌市が約3割

資料：北海道開発局 北海道の主要渋滞箇所
 ※北海道渋滞対策協議会において一般道路211箇所（4エリア79箇所、24区間56箇所、76箇所）、高速道路3箇所を特定（H25.1.24）

札幌市の渋滞状況

渋滞損失時間による渋滞状況の表示



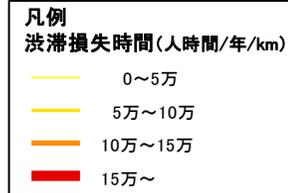
札幌都心部（創成川通）の渋滞状況



【夏期の状況】



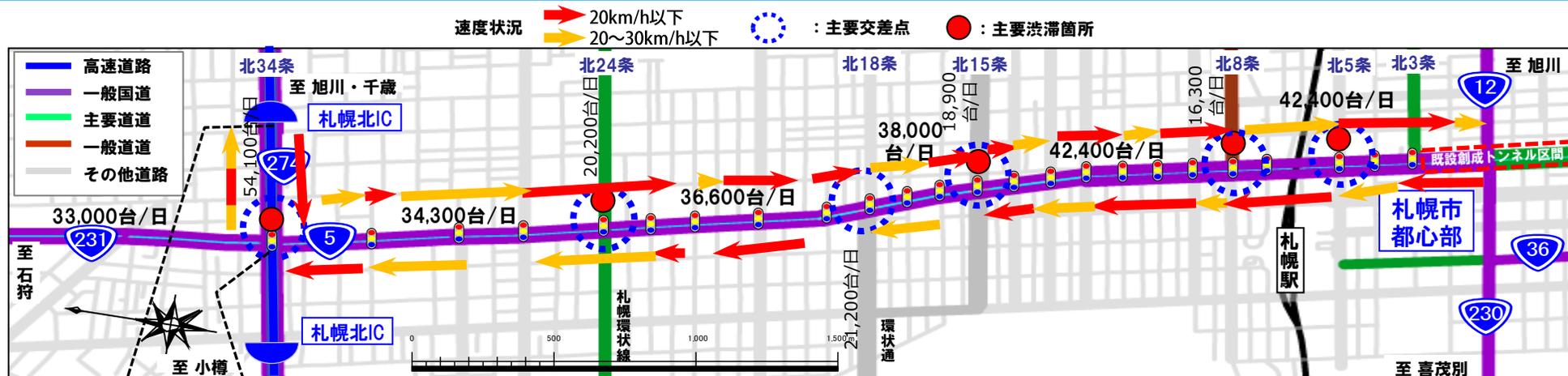
【冬期の状況】



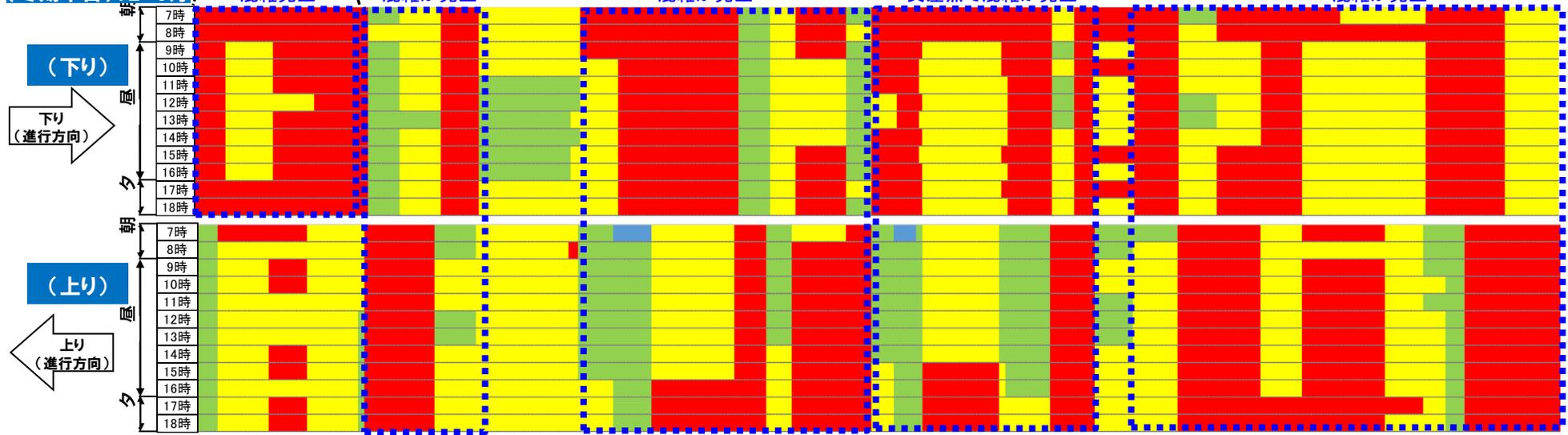
資料：H28民間プローブデータ

2. 創成川通の渋滞状況

- 創成川通には**主要渋滞箇所**が5箇所存在し、**慢性的な渋滞**が発生
- 信号交差点の連担**により、**主要交差点**(北34条、北24条、北18条、北15条、北8条、北5条)を中心に**全線で混雑**が発生
- 冬期は**主要交差点**を中心とした混雑に加え、更に**路線全体で平均速度**が下がり、**混雑が連続化**



■速度状況 (冬期平日)12-3月

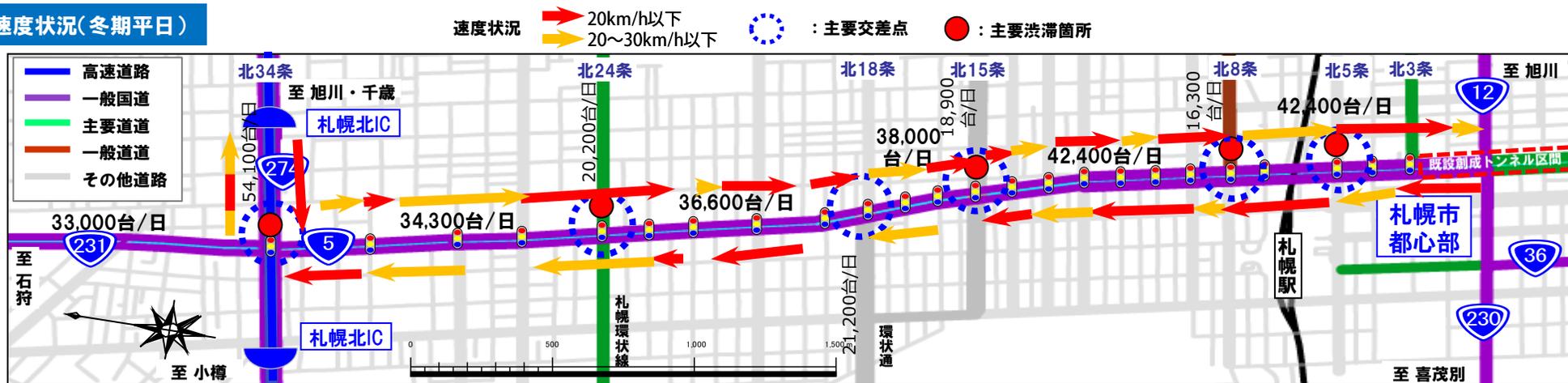


資料: H28民間プローブデータ

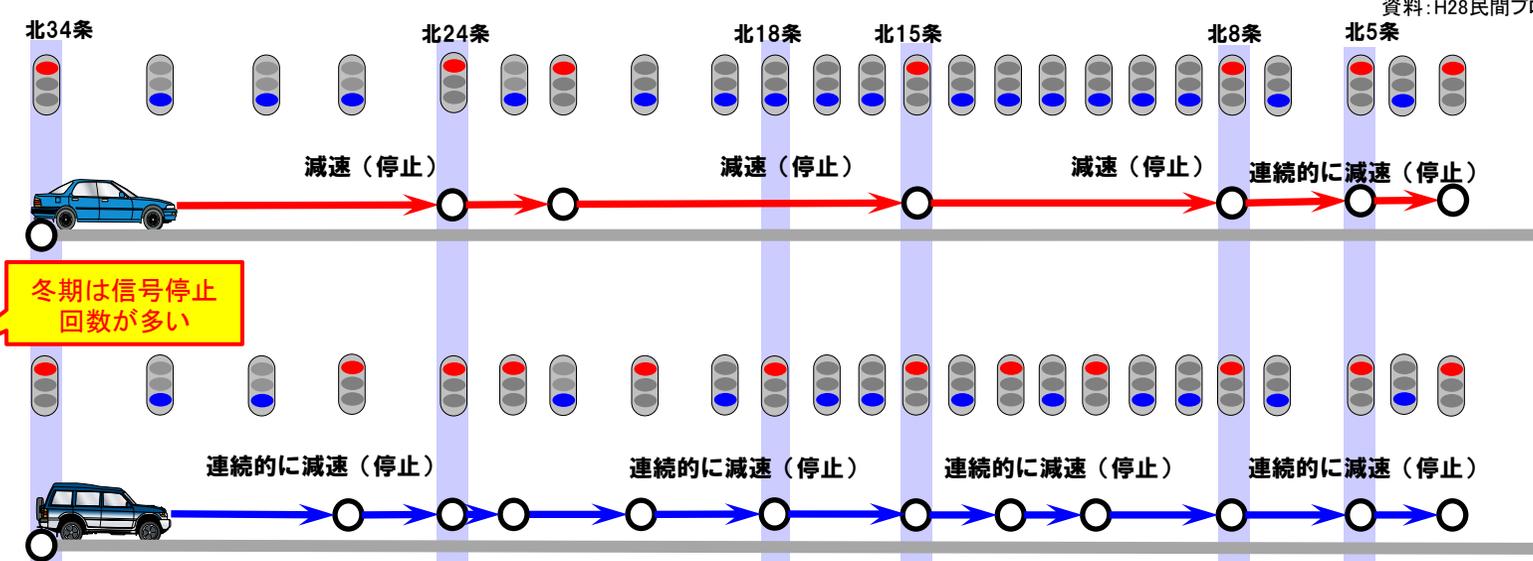
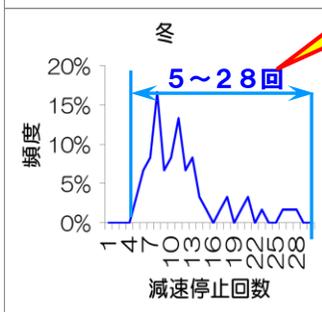
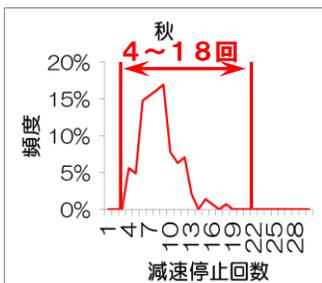
2. 創成川通の渋滞状況

- 創成川通では、24箇所の信号交差点が連担しており、信号交差点での加減速によって速度低下が起きている
- 特に冬期では信号交差点の連担で夏期と比べて信号に伴う減速停止回数が多く、主要交差点(北34条、北24条、北18条、北15条、北8条、北5条)では、並行路線からの交通が集中する傾向があり、手前の区間を含め連続的に混雑が発生

■速度状況(冬期平日)



資料: H28民間プローブデータ



※走行データは商用車プローブデータによる(秋期 H27.9とH28.9、冬期 H28.2)。全データのうち、おおむね北34条と北1条間を連続的に当該道路を利用する車両を抽出。そのうち停止に伴う減速回数は、20km/h以下である回数をカウント。

4. 創成川通の交通事故

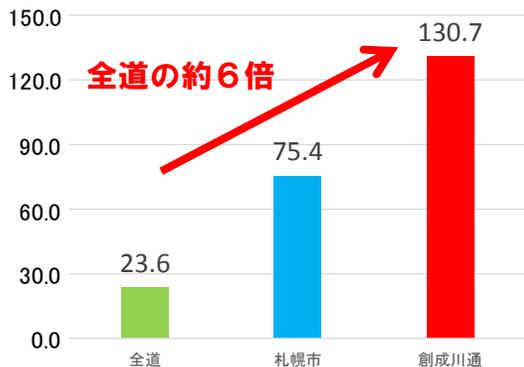
- 創成川通には、事故危険区間交差点が**12箇所**存在し、**死傷事故率は全道の約6倍**と非常に高い頻度で事故が発生。
- 事故傾向として、右折滞留車両を要因とする**追突事故**が最も多く、事故全体の約半数を占める。



資料: H28北海道開発局 事故危険区間

▼死傷事故率の比較

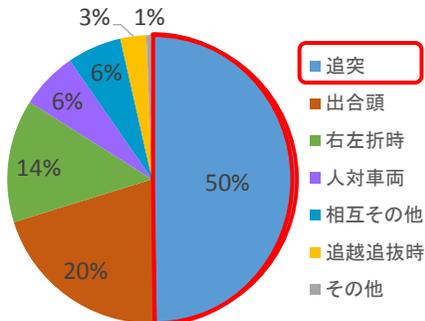
(件/億台キロ)



資料: H24-27 ITARDAデータ
対象区間: 北34条交差点～北3条交差点

▼事故傾向

・事故類型



資料: H24-27 ITARDAデータ
対象区間: 北34条交差点～北3条交差点

・追突事故の発生過程



創成川通の現道課題

- ・約4キロ区間に主要渋滞箇所が5箇所存在し、慢性的な渋滞が発生
- ・信号交差点が24箇所あり、交差点での加減速による速度低下が原因
- ・札幌北IC(千歳方面)オフランプから本線上まで渋滞が発生
- ・事故危険区間が連続して複数箇所存在



対策(案)

高架構造・地下構造・交差点改良案等

第2回 札幌都心アクセス道路検討会

平成29年8月10日

北海道

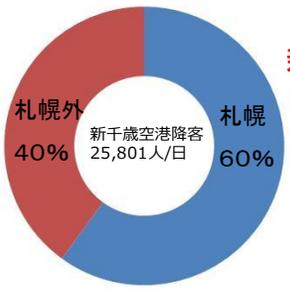


広域交通ネットワークの必要性と課題（観光）

その先の、道へ。北海道 Hokkaido, Expanding Horizons.

- ・新千歳空港からの目的地は約6割が札幌市であり、また新千歳空港からの移動手段は約半数が道路を利用する移動である。
- ・インバウンド観光の増加等をふまえて高速道路と創成川通を利用する新千歳空港から札幌都心への直行バスの運行も開始された。
- ・発着枠の拡大などにより新千歳空港利用者のさらなる増加が見込まれるなか、**宿泊施設や観光地が集積する札幌都心へのアクセス向上が重要**となっている。

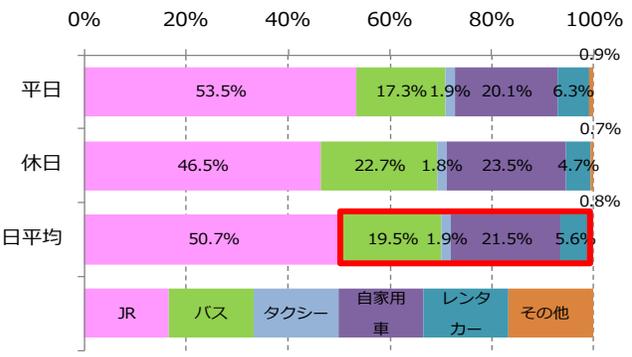
新千歳空港からの目的地



新千歳空港利用者の目的地の6割が札幌

資料：航空旅客動態調査（H25年度）

新千歳空港からの移動手段



約半数が道路を利用する移動（バス、自家用車、レンタカー等）

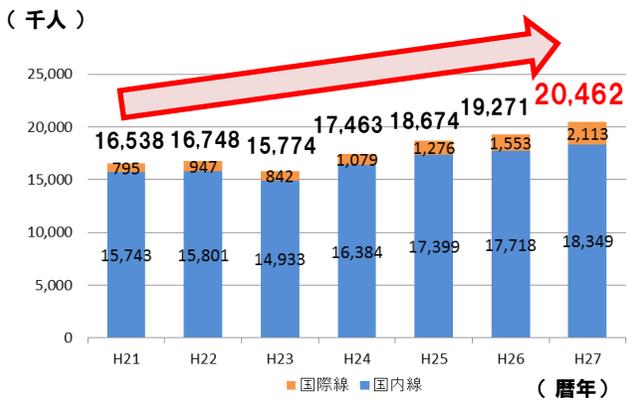
資料：航空旅客動態調査（H25年度）

新千歳空港から札幌都心へのルート



平成28年7月から高速道路（札幌北IC経由）と創成川通を利用した札幌都心直行バスが運行開始（従来のルートより約15分早い）

新千歳空港旅客数の推移



出典：空港管理状況調査（国土交通省）より作成

新千歳空港の1時間当たりの発着枠拡大

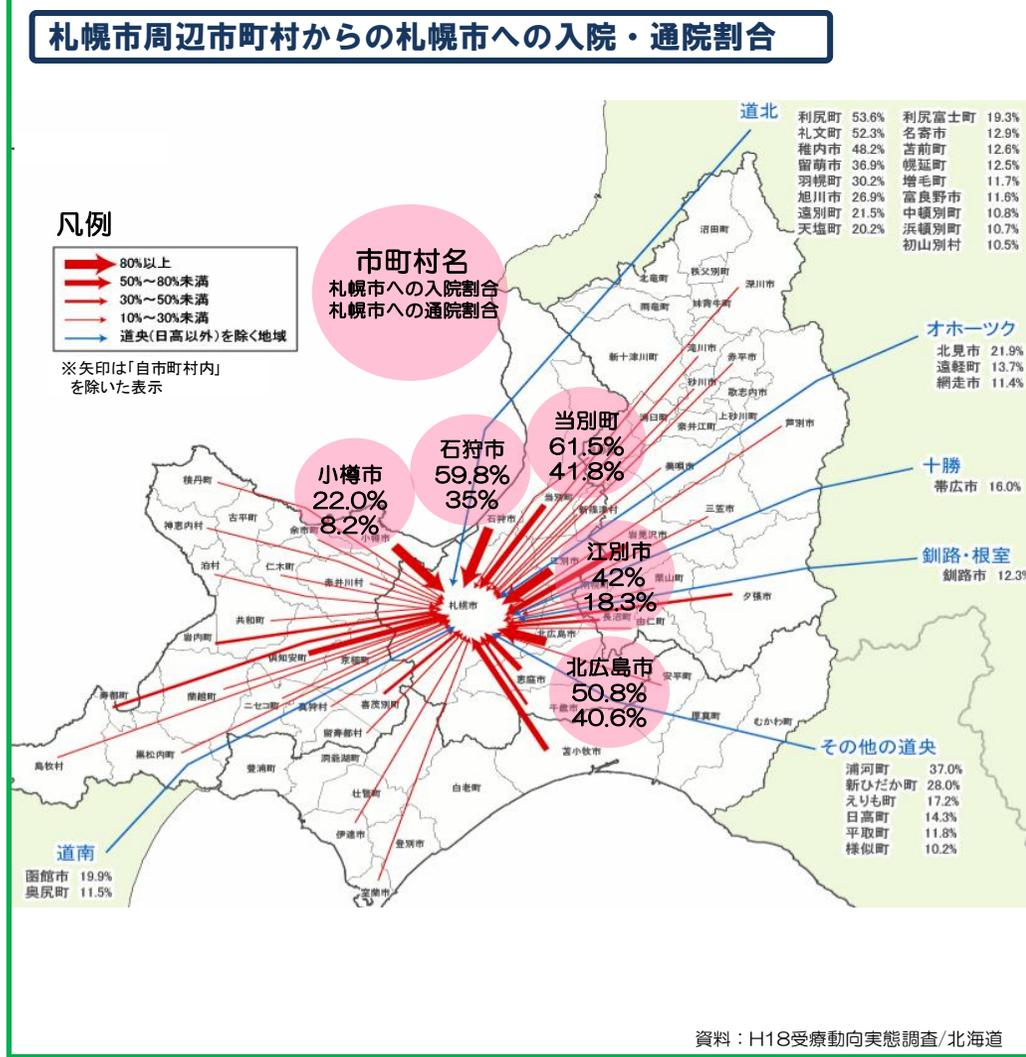
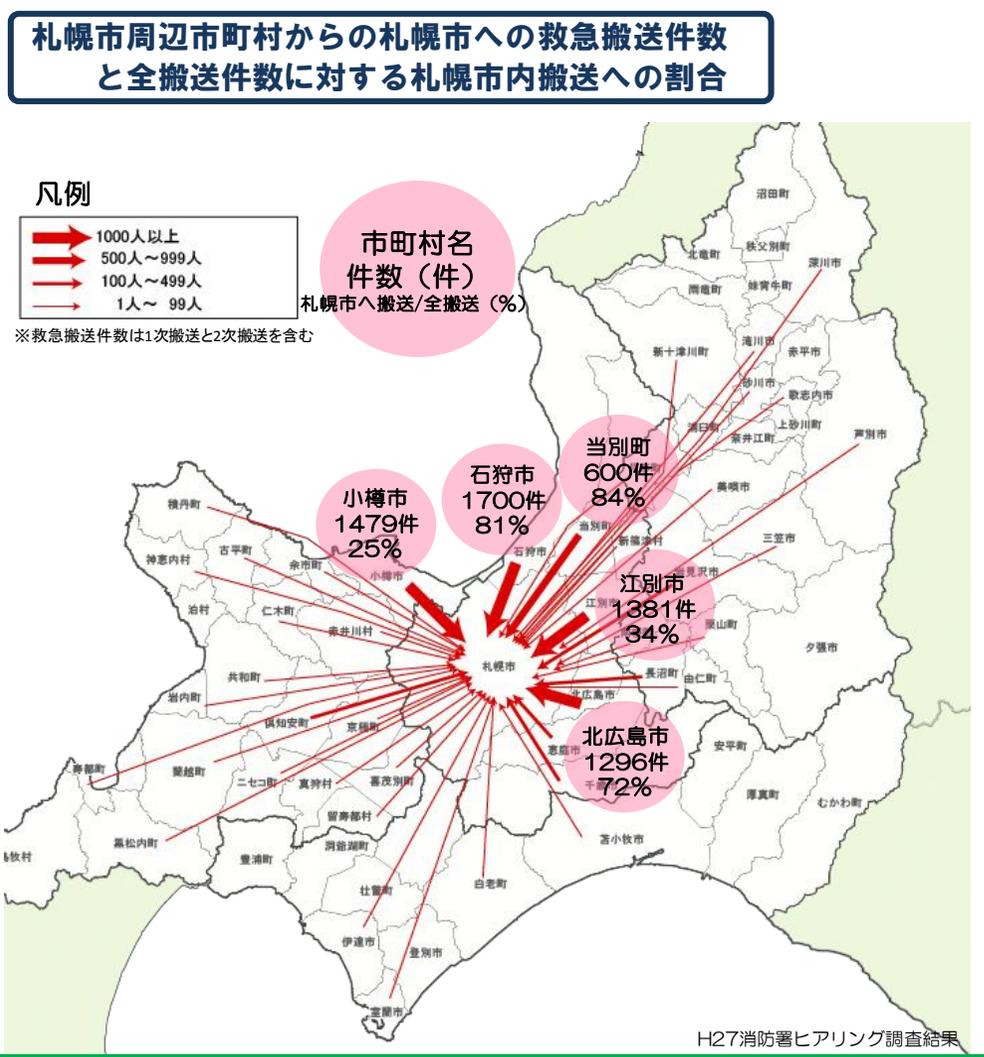
（現行）32枠／時間 → （拡大）42枠／時間
平成29年の夏ダイヤから（平成29年3月～）

一部外国航空会社の乗り入れ制限の緩和

（現行）	（緩和）
月・木曜（終日乗入不可）	月・木曜（12～17時）
火・水曜（12～16時）	火・水曜（12～17時）
金曜（17時以降）	金曜（12～24時）
土・日曜（終日）	土・日曜（終日）

広域交通ネットワークの必要性と課題（医療）

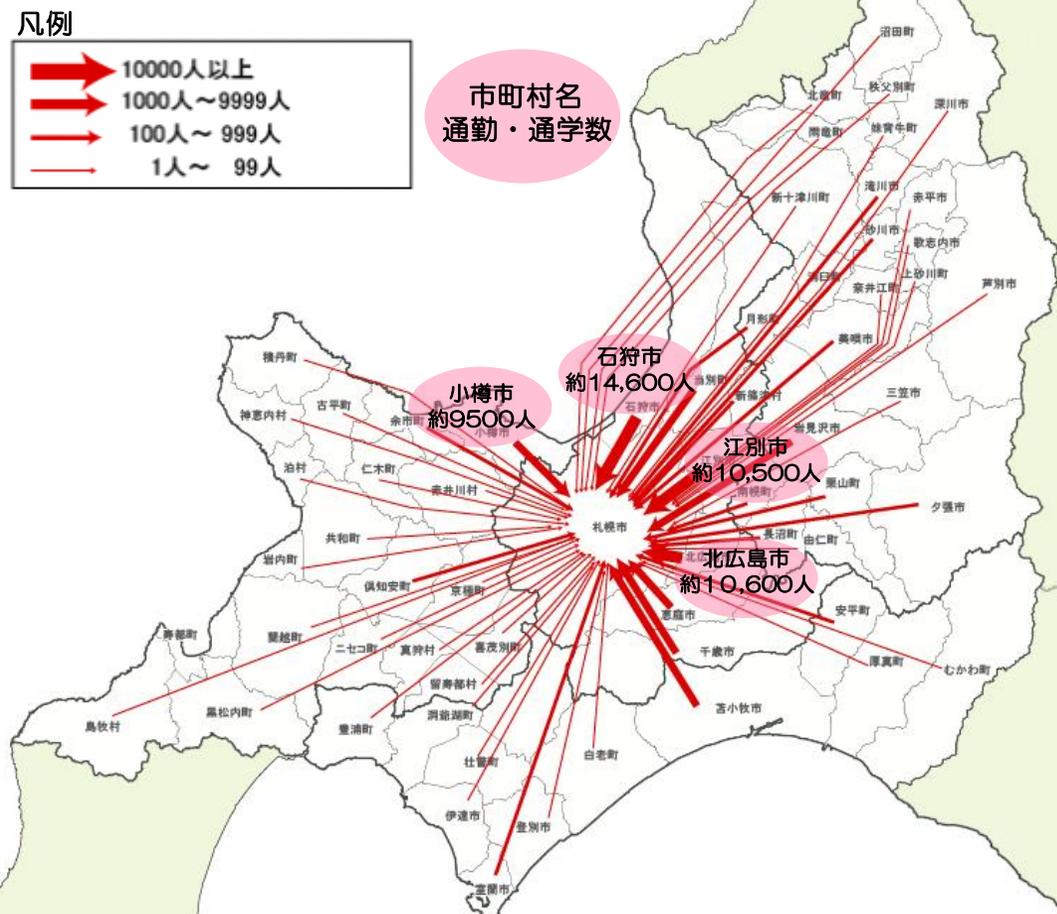
- 札幌市には高次医療施設が集積しており、周辺市町村は、救急搬送・通院・入院の多くを札幌市に依存している。
- 特に札幌都心部には、専門性の高い救急指定病院などが立地しており、**救急搬送時間の短縮を図るため、高速道路とのアクセス向上が必要**



広域交通ネットワークの必要性と課題（暮らし）

- 札幌市には周辺市町村から多くの方々が通勤・通学しており、特に都心部には大規模なオフィスビルや大学などが立地している。
- 札幌市の商品販売額は道内の約6割を占め、道内各地から多くの方々が買い物のために札幌市を訪れている。
- 通勤時間の短縮や暮らしの利便性を高めるため、**周辺地域から都心部へのアクセス改善が必要。**

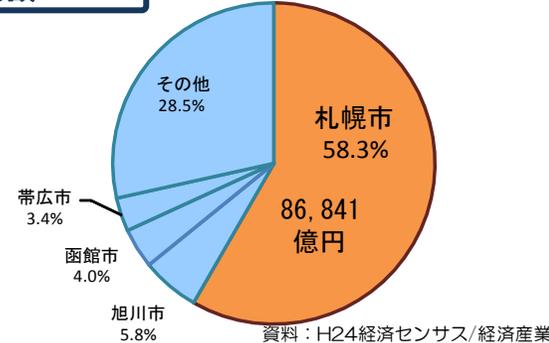
札幌市周辺市町村からの札幌市への通勤・通学の状況



札幌への買い物移動の状況



地域別の商品販売額



第2回 札幌都心アクセス道路検討会

札幌市資料

【パネル展】

- 平成28年10月から11月には、札幌駅前地下歩行空間や札幌市役所などにおいて、**都心アクセス強化(創成川通の機能強化)**に関するパネル展を開催
- パネル展では、取組の必要性や期待される効果に関するパネル展時を行うとともに、**パンフレット配布、アンケート調査**を実施。

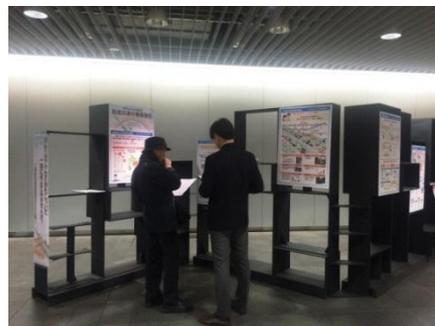
【パンフレット】

- パネル展会場において、**約1,400人の方にパンフレットを配布**するとともに、**アンケート調査を実施**
- パネル展のほか、各区役所や創成川通沿線のまちづくりセンターでもパンフレットを配布

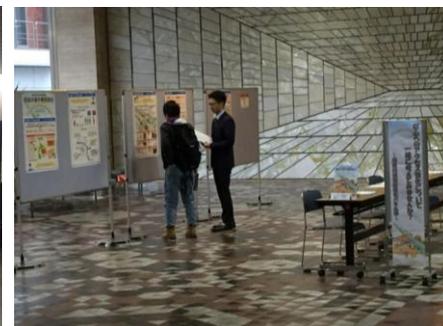
【アンケート】

- 都心アクセス強化への期待や現況道路に感じる課題などを把握するために、札幌市及び近郊にお住まいの方々に**アンケート調査を実施**。
(調査期間:平成28年10月20日～11月18日)
- アンケートは、パネル展会場での配布、ホームページへの掲載、各区役所などへの配架により、**1,004票の回答**が得られた。

▼パネル展開催状況



地下歩行空間



札幌市役所

▼パンフレット



▼アンケート用紙

のりしろ

都心アクセス強化(創成川通の機能強化)アンケート用紙

A. 新たな商品についてお尋ねします。該当するものに☑をつけてください。

(A.1) 性別 男性 女性

(A.2) 年齢 15歳以下 20代 30代 40代 50代 60代 70歳以上

(A.3) お住まい 中央区 北区 東区 白石区 厚別区 豊平区 清田区
 南区 西区 手稲区 小樽市 江別市 千歳市 恵庭市
 北広島市 石狩市 函館市 長沼町 苫小牧市 その他()

(A.4) 創成川通の利用頻度、利用する際の交通手段・利用目的

①利用頻度 ほぼ毎日 日に数回程度 月に数回程度 ほとんど利用しない 利用したことがない

②主な交通手段 徒歩 バス タクシー 自転車 徒歩 その他()

③主な利用目的 通勤 通学 買い物 散歩 その他()

のりしろ

B. 都心アクセス強化(創成川通の機能強化)についてお尋ねします。

(B.1) 都市の魅力(生活向上)のため、どのような効果を期待するか、いくつでも☑をつけてください。

暮らし……………通勤・買い物における利便性向上など
 観光(ビジネス)……移動時間の短縮、観光地への滞在時間短縮など
 物流……………物流効率の向上、物流コストの削減など
 医療……………救急搬送時間短縮による救命率の向上など
 環境……………水質浄化によるCO₂の排出削減など
 防災……………大規模災害時における輸送路の確保など
 まちづくり……………沿道地域の魅力向上(実住型都市の推進)など
 その他(期待する効果・具体的に)

(B.2) 創成川通の周辺について、課題と懸念をものごと、いくつでも☑をつけてください。

物理的な交通課題 幹線道路の交通課題 各種交通手段の交通課題
 札幌市1・2出口の渋滞 環状道路の交通課題 信号機の多さ・信号の出し方(矢印等)
 交通手段の多様性 歩道の狭い区間 その他(感じる課題・具体的に)

(B.3) 今後、検討を進めるうえで配慮すべきと思うものに、いくつでも☑をつけてください。

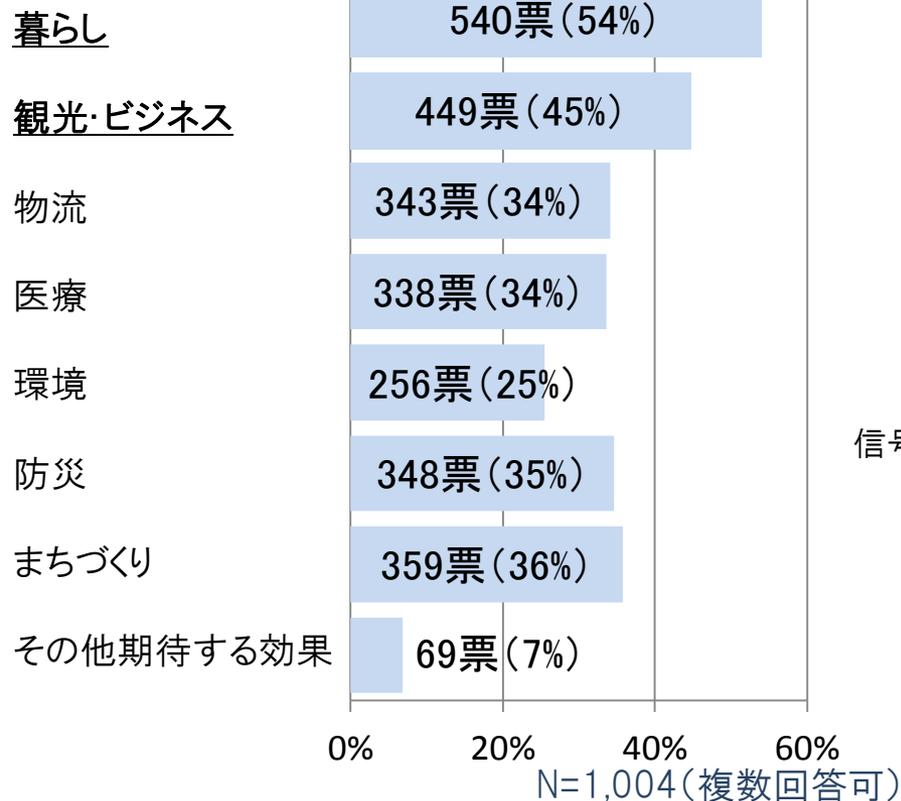
持続可能な交通の向上 交通安全対策 事業費
 歩道整備 歩道橋の設置・拡充 工事時の騒音・振動
 環境 沿道地域の活性化 札幌駅(東横線)との連携
 快適な歩行環境 歩道・通道の整備 その他(懸念・具体的に)

(B.4) 都心アクセス強化(創成川通の機能強化)について、ご意見がございましたら、お聞かせください

アンケートへのご協力ありがとうございました。

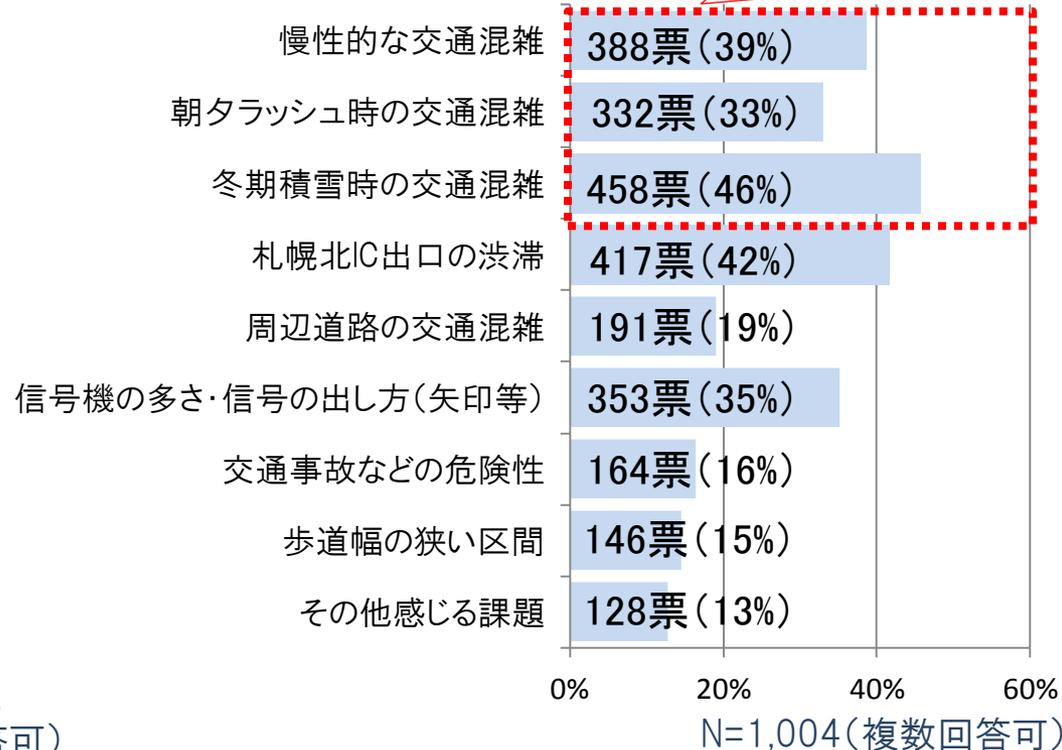
【設問1】都市の魅力・活力向上のため、どのような効果を期待するか、いくつでも☑をつけてください。

【設問2】創成川通の現況について、課題と感ずるものに、いくつでも☑をつけてください。



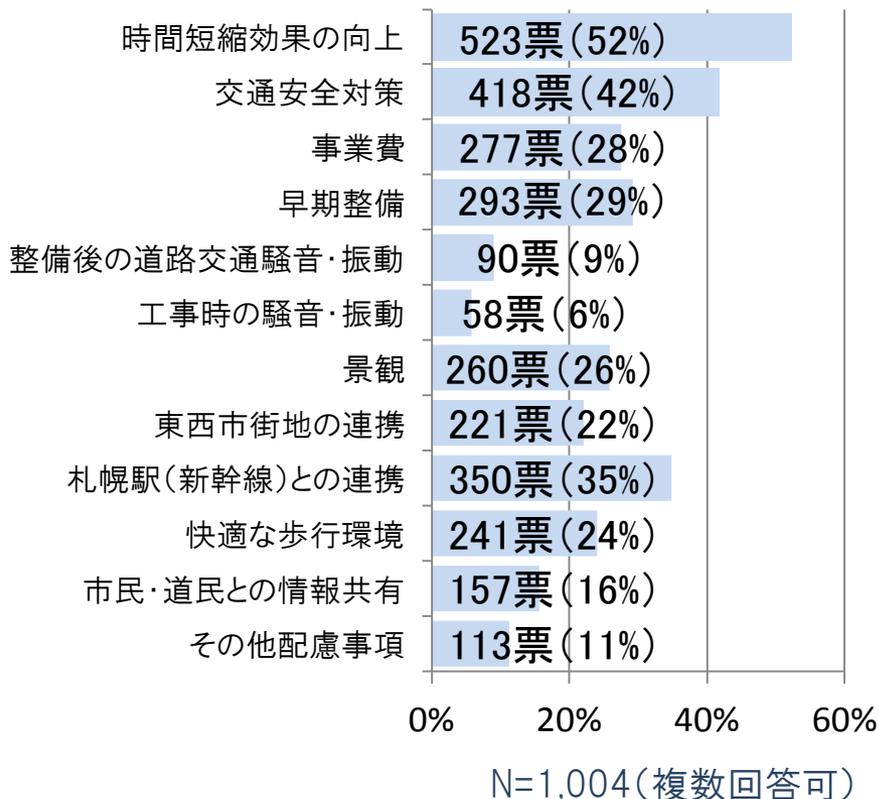
「暮らし」や「観光・ビジネス」をはじめ、「まちづくり」や「防災」など幅広い効果に対する期待が寄せられた。

創成川通の交通混雑に関する3項目のうち、1つでもチェックを付けた方は計663人(66%)



回答者の約3分の2の方から「創成川通の交通混雑」に課題を感じているとの声が寄せられ、また、「札幌北IC出口の渋滞」に課題を感じる声が多く寄せられた。

【設問3】 今後、検討を進めるうえで配慮すべきと思うものに、いくつでも☑をつけてください。



「時間短縮効果の向上」や「交通安全対策」など、道路交通に関する面だけではなく、「札幌駅(新幹線)との連携」についても検討に配慮すべきとの意見が寄せられた。

【設問4】 都心アクセス強化(創成川通の機能強化)について、ご意見がございましたら、お聞かせください。

【早期実現を望む声】

- 札幌市の将来に不可欠なプロジェクトであり、早急に具体化すべき。
- 新幹線の札幌延伸を考えると早く整備してほしい。

【事業費への懸念を示す声】

- 多額の税金を使い、地下や高架でつくる必要はないと思う。
- 本事業による経済的効果と事業費のバランスについて考える必要がある。

【その他の意見】

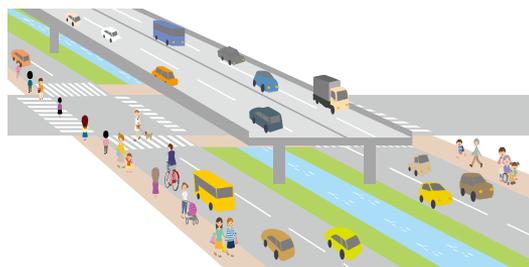
- 札幌市だけではなく北海道全体の重要施策であると思う。
- タクシー、観光バス、物流車両等の路上駐停車車両の取り締まりを強化すべき。

早期実現を望む声や、整備形態に関する意見、事業費への懸念を示す声など、様々な視点から多くのご意見が寄せられた。(全474件)

【設問4】 都心アクセス強化(創成川通の機能強化)について、ご意見がございましたら、お聞かせください。

【整備形態に関する意見】

高架構造



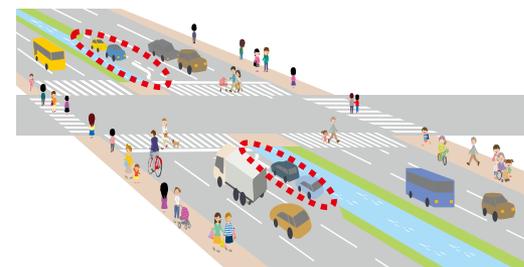
- 高速道に合わせて高架構造にするのが良い。
- 高架が良い。上から見る札幌の景観を楽しみたい。
- 東京の日本橋の上に高速道路があるように景観をダメにしないでほしい。昔の大友堀のイメージ、柳がある公園でのんびりした川で光がさすイメージは残すべき。
- 車の増加、騒音、高架による圧迫感、景観、日照、東西分断と道路に面して住んでいる者には最悪で迷惑。

地下構造



- 冬期間における定時性確保の観点から地下が良い。
- 都市景観に配慮し、ぜひ地下にて整備いただきたい。
- 都心部アンダーパス連続化では創成川の親水空間が生まれた。事業費はかかるかもしれないが、地下化し地上の車線数を減らして創成川の親水空間・緑化を併せて行えば、札幌の財産になると思う。
- 一番良い方法だが事業費が高額になるため現実的でない。

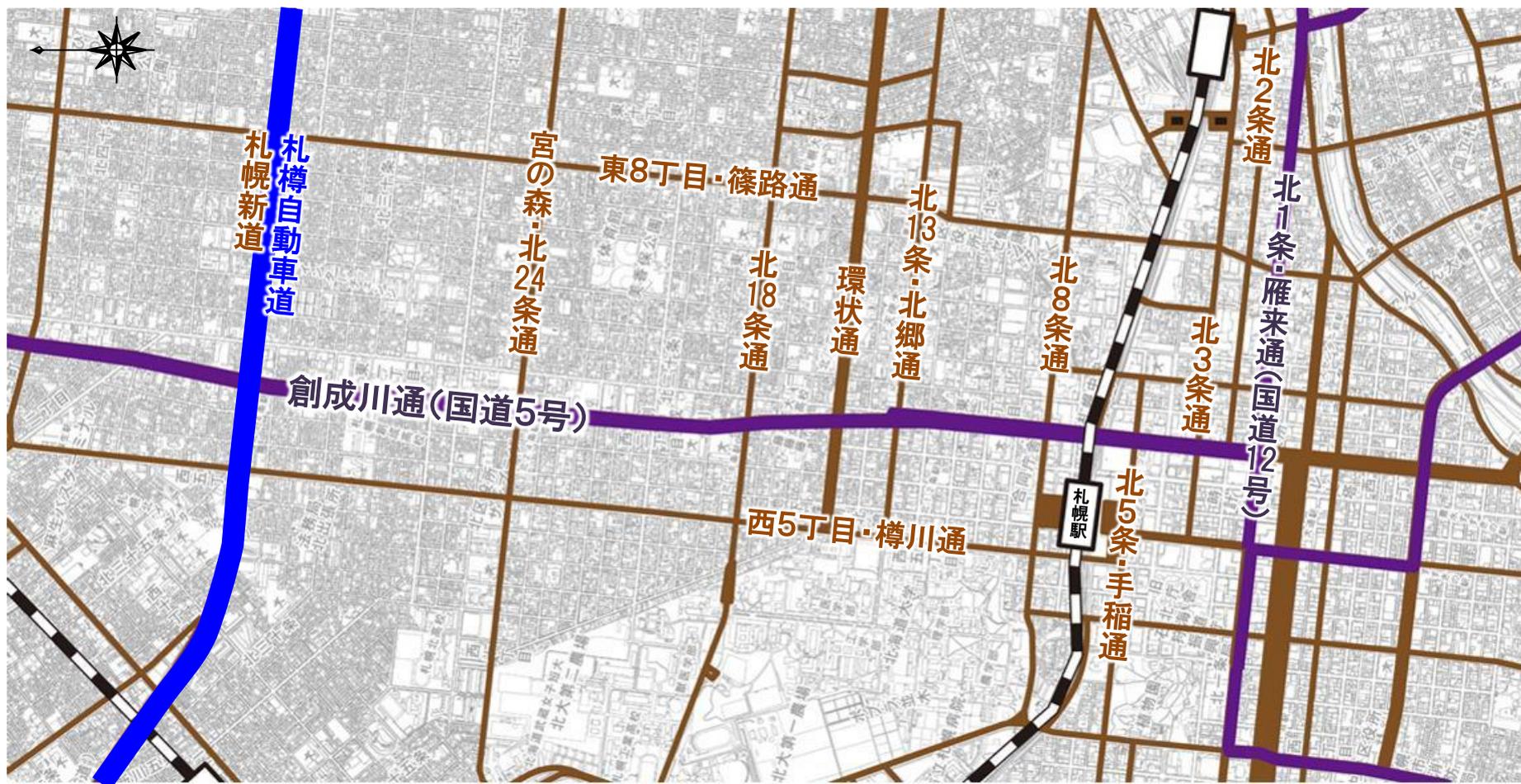
交差点改良



- 交差点改良で十分。すぐにできるしよい。
- コストの面から交差点改良が良い。
- 交差点改良は車道横断が怖いからやめてほしい。

- 創成川通には、東西の交通ネットワークを担う都市計画道路が多く交差。
- 都市計画道路以外の道路も創成川通に数多く交差し、地域交通を担っている。

✓ 検討にあたっては、交差道路の分断など、周辺道路交通への影響に配慮が必要。



- 創成川通沿線には多くの学校施設、二次救急医療機関が立地している。

✓ 検討にあたっては、景観、騒音、日照等、生活環境への配慮が必要。



- 都心アクセス強化により、道都札幌の玄関口としての**広域交通結節機能を強化**。

▼札幌駅交流拠点先導街区の役割

1 世界とつながる国際ビジネス・観光促進のハブ

- ◆ 国際的に評価される質の高い都市空間の創出
- ◆ 安心して働き、訪れ、生活できる信頼性の高いまちの形成

2 都市と自然とが融合した、札幌・北海道のシンボル

- ◆ 札幌・北海道を象徴する都市空間の創出
- ◆ 環境首都・札幌のシンボル空間として世界へPR

3 都心の回遊・にぎわいの起点となる顔

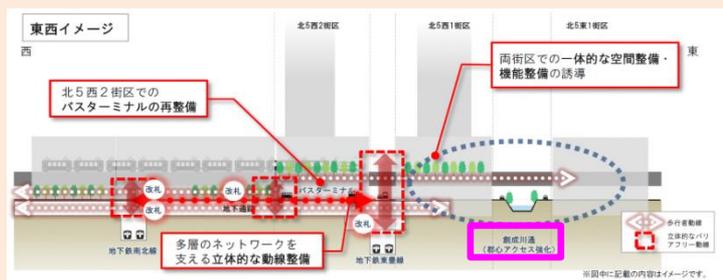
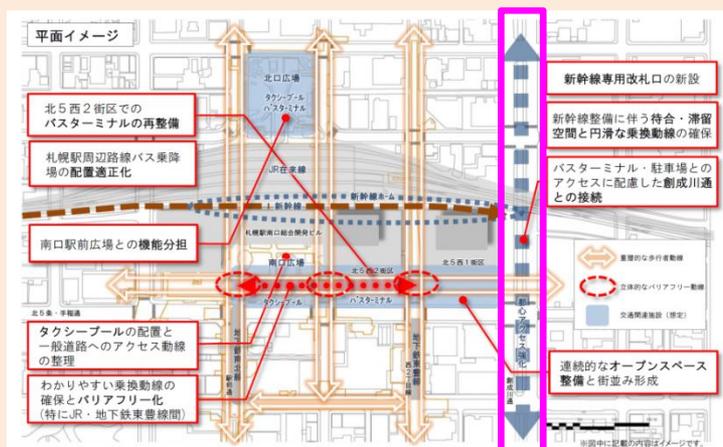
- ◆ 駅と街をつなぐ起点として、誰もがわかりやすく使いやすい環境を創出
- ◆ 世界都市札幌の玄関口にふさわしい空間の創出



▼取組の目標

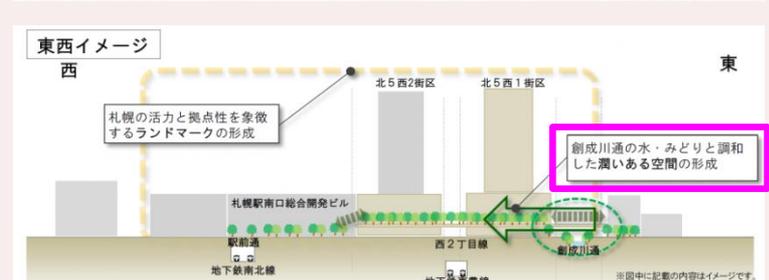
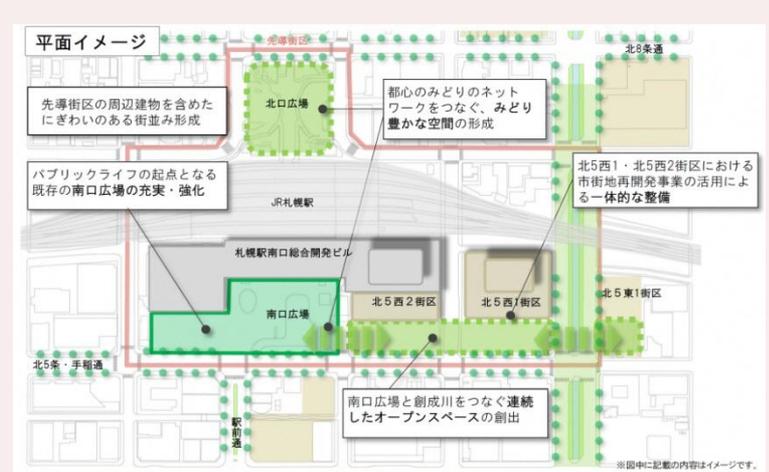
＜基盤整備の取組の目標＞

国内外との連携・交流を促進する利便性の高い基盤整備の促進



＜街並み形成の取組の目標＞

国際的な交流拠点にふさわしい札幌・北海道を象徴する街並み形成



- 札幌市では、**札幌の景観形成の総合的な指針**として、平成29年2月に「札幌市景観計画」を策定。

計画策定の目的

- 札幌の景観形成の総合的な指針として、理念や目標、方針等を明らかにするとともに、その実現に向けた取組などを定めます。
- この計画を市民・事業者・行政棟が共有、連携して、持続的かつ計画的に良好な景観の形成に向けた取組を推進します。

これからの景観施策の主要課題

これまでの景観施策

都市が拡大・成長する中で、受動的、保守的に秩序と調和のある都市景観を維持する施策

人口減少

オリンピック招致

環境・エネルギー問題

新幹線開業

超高齢社会

これからの景観施策

成熟した都市において、景観を構成する要素を幅広くとらえ、能動的・創造的に都市の魅力・活力を向上させるための施策

札幌の景観特性

自然

- 四季の変化が鮮明
- 世界の大都市に類を見ない降雪量の多さ
- 豊かな自然と市街地が近接 など

都市

- 北海道開拓の拠点として整備された都心部
- 都市化の進展に応じて整備・拡大された市街地 など

人(暮らし)

- 多様な文化を受け入れる寛容さと新しいことに挑戦する進取の気風を持つ市民性
- 四季折々の魅力的なイベントやスポーツ など



景観形成の理念・目標・基本姿勢

理念

北の自然・都市・人が輝きを織りなす美しい札幌の景観を創り上げる

目標

- 札幌固有の景観特性と街の成り立ちを尊重し、秩序と調和のある景観づくり
- 地域の個性が際立ち、多彩な輝きを放つ景観づくり
- 多様な主体がつながり、持続的に取組を重ねる景観づくり

基本姿勢

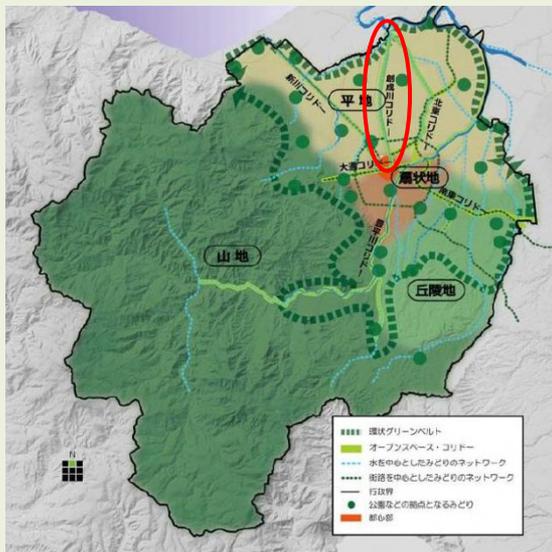
- | | |
|----------------|-----------------|
| ア 自然を守り、生かす | エ 地域の個性を見だし、伸ばす |
| イ 歴史を踏まえ、受け継ぐ | オ みんなが取り組み、広げる |
| ウ 札幌の「顔」を創り、磨く | カ 行政は率先し、支える |

良好な景観の形成に関する方針

自然

水とみどり

- 骨格となる水とみどりのネットワークを基軸として重視し、連続性のある景観形成を図ります。
- 特徴ある水辺空間や拠点となるみどりを生かした景観形成を図ります。
- 水とみどりが連続する自然環境を保全するなど、多様な生態系に配慮した景観形成を図ります。



自然特性を踏まえた景観形成の方針 付図

都市

都心

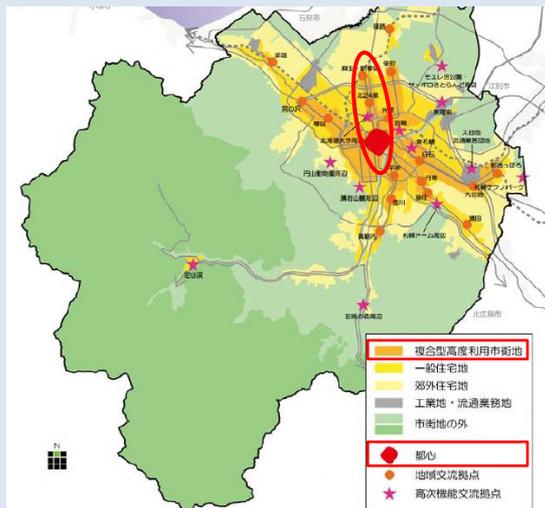
【世界に向けて都心の魅力を発信する優れた景観形成】

- 骨格軸や交流拠点などの個性を生かした、風格ある魅力的な景観形成を図ります。
- 人にやさしく快適な、歩いて楽しい空間の創出を重視し、魅力的な景観形成を図ります。

複合型高度利用市街地

【利便性の高い快適な暮らしを演出する景観形成】

- 集合型居住機能や多様な生活利便機能が集積していることを踏まえ、地域特性に応じた、秩序と調和のある景観形成を図ります。



市街地等の特性を踏まえた景観形成の方針 付図

人(暮らし)

歴史

- 格子状街路や防風林など、街の成り立ちを尊重した景観形成を図ります。

文化・暮らし

- 市内外から多くの人々が訪れる場所では、市民や観光客等が魅力を感じられるよう、その場所の特性を踏まえるとともに札幌の文化を尊重した景観形成を図ります。
- 住宅地等では、地域ごとの住まい方の違いを踏まえ、地域住民が関わりながら、地域への愛着を高める景観形成を図ります。
- 新築時はもとより、その後も適切な維持管理がなされ、時代を経て成熟していく質の高い景観形成を図ります。



都心部における都市再生の取組
【創成川公園】

札幌都心アクセス道路検討会の進め方(案)

札幌都心アクセス道路検討会

第1回検討会
(H28.12.19)

検討会の設置、検討事項および進め方を確認

平成29年度より直轄調査に着手

〔札幌都心部と高速道路のアクセス強化に向けた、構造等の概略的な検討の調査を実施〕

今回

【国】 国道5号の渋滞状況等

【道】 広域的な整備効果の検討状況

【市】 市民の合意形成・まちづくりの視点について

次回

【国】 対策案、概算費用

【道】 広域的な整備効果の検討状況

【市】 市民合意の取組、今後の方針等について

※必要に応じ開催

国道5号 創成川通の対応方針(たたき台)

計画段階評価